

狭山が発祥の地

童句

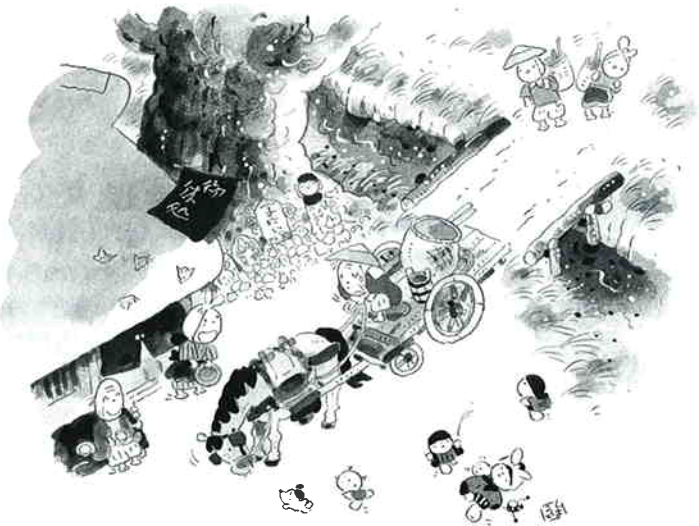
吹いて売る うぐいす笛は 吹いて買う
 和歌ひとつ 母に教わる 西行忌
 広沢 一岐
 野辺 千代
 香によつて 小枝の鳥も 梅見かな
 大谷木 浩子
 風邪の床 りんごの兎 耳立てて
 辻 ひよ子
 春泥や 先ず拭いてやる 猫の足
 前田 美智子
 春近し プラネタリウム 星修理
 土家 由岐雄

※童句は、狭山市在住の土家由岐雄氏が創始し、全国に広がりました。大人が童心に返って子どもの生活や感情を詠う俳句のことです。子供にもよく分かり、大人も詩情を感じる格調高いものです。わが子や孫がどうしたという句は童句ではありませんのでお間違えのないようお願いします

池原 昭治の

さやまの茶本

23



茶店と馬のお話

むかしのお話です。堀兼の権現橋のたもとに、だんごや甘酒を売る茶店がありました。ちょうど鎌倉街道と新河岸街道とが交わる場所ですので、旅人や荷車が行きかい、たいそう賑わったそうです。ある日のこと、さくたん農作物をつんだ荷馬車を通りました。青梅の方からやってきたらしく、年とった馬方はすこしつかれ気味でした。それでも茶店の前にきたときは「おかみさん、帰りにいっぴいやるからたのむよ」といって新河岸

に向かいました。その帰り道のことです。朝はやくから仕事をしていたのでつかれがどつとでましたのか、馬方は荷馬車のうえでついウトウトといねむりをはじめました。「おやかた、おやかた！」と呼ばれ、ハツと目をさましますと、なんといつも休憩する茶店の前にはありませんか。仕事の帰りにかならず寄っていましたが馬の方も心得たもので茶店の前で止り、馬方が目をさますのを待っていたそうです。今さらながら馬のかしこさに感心したり、ほっとしたりしたそうです。

AET CORNER



Joseph Tait (AET)

Hello everyone!

A question I often find myself answering is, "What is my impression of Japan?". Up until this point I have an absolutely positively fantastic impression of Japan and her people! The people in Sayama-shi are very kind and friendly and have made me feel welcome wherever I go. I am very lucky to teach at Kashiwabara Junior High School where the staff and students are excellent to work with. I will miss them when I change schools in September!! There have already been so many wonderful memories that it would be impossible to write about them all. One such event happened at Kashiwabara Elementary School. It was there that I saw my first sports day festival. It was fantastic! The children were so enthusiastic and happy. It really touched me. It is because of special moments like this one, the friendly teachers and students, and the hospitality of the people of Sayama-shi, that I look forward to my next eight months in Japan with much anticipation.

この広報紙は自然保護のため再生紙を使用しています

お・茶・香・る・ま・ち

さやま

【狭山市広報】

VOL.500

◆発行日/平成9年3月10日(毎月10・25日発行)

◆編集・発行/狭山市役所企画財政部秘書広報課

〒350-13 埼玉県狭山市入間川11-23-5

TEL.0429-53-1111(内線386)

FAX.0429-55-9713